

労働運動委員会ニュース

No. 225 2019年5月20日

発行責任者 宮川 敏一
東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
TEL (03) 6380-9960 FAX (03) 6380-9963
E-mail miyakawa@sinsyakai.or.jp

JAL争議の早期解決をめざし

関東キャラバン 20日~30日
JAL本社大包囲・要請行動

5月30日(木) 18:15~19:00

山梨→茨城→栃木→群馬→千葉→埼玉→神奈川→東京

経営トップが「終身雇用」を否定 利益優先、労働者切り捨てを公に

トヨタと日立製作所という、日本を代表するメーカーのトップが相次ぎ「終身雇用」を否定する宣言をした。国の発展を支えてきた「終身雇用・年功序列賃金」。労働者が健康で働き続ける労働環境をいとも簡単に切り捨てる。

「終身雇用」を悪とするのは三流経営者だ。トヨタ自動車の豊田章男社長もぼんくら社長でしかなかった。

「今の日本を見ていると雇用をずっと続けている企業へのインセンティブがあまりない」と指摘、「現状のままでは終身雇用の継続が難しい」との見解をしめした。

これらについては、経団連の中西宏明会長（日立製作所会長）も7日の定例会見で、「企業は制度疲労を起している。終身雇用を前提にすることが限界になっている」と発言した。

日本のトップ企業がいと

も簡単に「終身雇用制度」を切り捨てることに、日本企業の劣化がうかがわれる。

労働者の労働なくして生産はありえない。AI等で何もかもできるとでも思っているのか？労働者の消費が無くて経済の発展はない。モノを作り誰が買うというのか？

労働者は、スキルを磨いてキャリアを積み上げ、やりがいのある仕事は、後からついてくる。そのような理想が実現でき



るならば、格差・貧困などは生まれない。

現在でも、有期雇用で働く労働者は全雇用者の半数（およそ2800万人）を超える。だからこそ、ワーキングプア・格差・貧困も

19年地域別最低賃金

全国一律千円引き上げの早期実現

今日14日に開かれた政府の経済財政諮問会議で、民間議員（サントリー社長）

から、最低賃金の5%程度からの引き上げを求めたことに、菅官房長官が理解を示す一方、世耕経済産業大臣は慎重な考えを示した。来月に決定する「骨太の方針」で、

最低賃金の引き上げ目標をされる。政府の経済財政諮問会議では、民間議員らは、日本の景気の先行きに不透明感が増すなか、内需の支えに向けて、企業が従業員に支払わなければならない最低賃金を引き上げる必要があると提言した。

これに対し、菅官房長官は「日本の最低賃金は世界

生まれる。

不安定な有期雇用の拡大は、搾取の何ものでもない。首切り自由につながる「終身雇用」の廃止は絶対に許してはいけない。

で見ても非常に低い。引き上げるとは極めて大事だ」と理解を示した。世耕経済産業大臣は「中小企業は、現行の引き上げペースが精いっぱいだ」などと反論した。

政府は、全国平均で時給1000円の早期実現に向け、毎年3%程度を目標に最低賃金を引き上げる方針を掲げてきたが、消費税率の10%への引き上げが予定されるなか、来月にも決定する「骨太の方針」で最低賃金の引き上げ目標をどの程度にするのか、注目される。

全国平均 874円
最高(東京) 985円
最低(鹿児島) 761円

ひょうごユニオンだより

はりまユニオン 定期総会開く 但馬ユニオン



はりまユニオンの 再建に向けた取り組み

はりまユニオンは、ユニオン運動の中心的活動を担っていただいていた塩谷書記長が病に倒れ、回復することなく昨年の夏8月に亡くなりました。塩谷書記長の病気ではりまユニオンの運動は停滞し、昨年2月に定期大会を開催することが出来ず、臨時に4月28日全組合員集

会を開いて、今後の運動を執行委員で手分けしながら続けていくことを確認しました。

そして今年3月10日、組合員の理解と県下の多くのユニオンの仲間の支援をいただき、第17回の定期大会を開催し新執行体制を確立することが出来ました。

おもな取り組みとしては、F興行の労働条件の改善問題で7名の新入組合員が増えて、はりまユニオンとして初めて多数の分会が誕生しました。現在も労働条件の向上を目指して粘り強く団体交渉を続けています。また、M食品の賃金未払問題で2名の新しい組合員が加入し、支払いを求めて要求書を提出し、団体交渉を

続けています。M食品の賃金未払問題では、2名の新しい組合員が加入し、支払いを求めて要求書を提出し、団体交渉を求めましたが返事がないので直接会社へ抗議を行いました。すると「支払います」と返事があったものの、約束の日に支払がな

但馬ユニオン総会

初代委員長の労をねぎらい新たな出発を

但馬ユニオンは、4月21日（豊岡市民会館）で第9回総会を開催した。



く、調査すると倒産の恐れがあることが判明しました。5月23日に姫路裁判所で初公判になります。

そのほか、A運輸の労災補償、M重工の職場環境の問題などを取り組んでいます。

但馬ユニオン結成からずっと委員長として

岡田一雄さんの頑張りによって活動してきた。初めての団体交渉・裁判闘争等、何から何まで初めてのことばかりで、その準備作業と交渉の大変さを見てきました。このたびの委員長交代の申し出に、応えるべきところに来ている。

さて、これからの但馬ユニオンの活動ですが、現在かかえている闘争および相談には引き続き頑張っていくの

はもちろんです。神戸で開かれる運営委員会、労働相談など、会議は、役員が順番に行くようにした。

但馬から神戸に行くのは道路事情がよくないとはいえ大変。まして夜の会議に出席すると但馬に帰る時間は23〜24時になり年齢的にも負担が大きい。役員が交替で行くことにより負担軽減と会議参加をすることで、ほかの各ユニオンのかかえている問題や実状の把握もでき、また他ユニオンの役員とも親しくなり元気とやる気がでるようになる。

但馬ユニオン全組合員、学習と議論をつうじて協力し、頑張っていきたいと思っている。今後、みなさんにいろんな報告ができればいいと思っている。ご協力よろしくお願いします。